



テレビCMでも披露したダンスをライブで披露する舞屋川市

# 独創ダンス思い込め

## 同志社香里中・高校

### ステージの外でも輝ける人に

昨夏、「CMが話題になった。アパチンボに選んだ」という高松市立舞屋川市に所属する舞屋川市舞踊部の女子部員19人が、制服姿の女子高生55人が、土手で、グラウンドで踊る。高松市立舞屋川市を代表して、同志社香里中・高校のダンス部だ。ダンスは、拳を握る「アウト」や、野球にちなんだ動作を取り入れたユニークな振り付けが特徴で、体育祭などでまね踊る学校も全国で相次いだ。副部長の川中真那さん(高3)は「服装知らない人からも見たよって声をかけてもらった。自分たちが誰かを元気づけることができたことうれしい」と話す。準備から撮影まで通関足らず。振り付けを考へ、息の合ったダンスを披露できたのは、普段の練習の成果だ。

### まなびバ! 教育/2016 関西ワイド

日本高校ダンス部選手権全国決勝大会のビッグダンス(10人以上)で2011年から史上初の3年連続優勝を果たす舞屋川市。曲選びから振り付けまで、すべて自分たちで考えて練習してきた。「自分たちしか作れない自分たちの思いの詰まった作品で、何かを伝えることに意味がある」と思ふ。顧問の東久保美津子(高3)は「高松も、時間がかかると、何をどう伝えるかを自分たちで考えるのが楽しい。振りを考えるのも面白い」。

### 「裁く重み 模擬裁判で学ぶ」

日弁連が毎年夏に行う「高校生模擬裁判選手権」の関西大会に、生徒有志が出場している。2014年は優勝、昨年は準優勝の好成績。昨年の模擬裁判には20人が参加した。シングルマザーが自分の子を殺した架空の事件を題材に、検察側、弁護側に分かれ、証人尋問や論告求刑、最終弁論までを本物さながらに行った。本番まで約3カ月、日弁連から派遣された支援弁護士らの助言を受けながら、事件の争点を見つけて整理した。全体統括リーダーの浜田光さん(高3)は「生まれて初めてというくらい頭を絞って大変だったが、人が人を裁いている裁判の重みを感じた」と振り返った。



次回(9月)は府立佐野高校(泉佐野市)を紹介します。

1940年に大阪信行社中として開校。51年に同志社(併し)同志社香里中・高校となった。長らく男子校だったが、2000年に高校が、02年に中学が共学化した。生徒数は中高合わせて男子826人、女子833人。

1875(明治8)年に同志社養正学校(同志社大を創立した新島襄の精神を受け継ぎ、「キリスト教主義」「自由主義」「国際主義」を柱に、キリスト教を基盤とする全人教育を行っている。週2回のシヨット礼拝、毎週のロング礼拝があるほか、各年で「聖書」の授業もある。中高6年間をかけて学習と、受験に求められるような個人の個性と能力を伸ばすことを目指す。ボランティアや部活動も活発だ。中学

高校生にも制服はないが、希望者は標準服を着ることができ、生徒の身割が同志社大、同志社女子大に進学する。

CLUB 高校ラグビー部は全国高校ラグビー大会に計4回出場した強豪校。全国有数の激戦区・大阪で他校との力を削いでいる。昨年はラグビーW杯で日本代表が活躍し、ラグビーの競技自体に対する注目度も上がった。部員は1、2年で27人。キャプテンの奥川晃平さん(2年)は「目標は全国。ひたむきに練習していくだけです」。倒れてから、ミスをしてからも、敵に流れを渡さない攻撃的なディフェンスが持ち味だ。去年はラグビーW杯で日本代表が活躍し、ラグビーの競技自体に対する注目度も上がった。部員は1、2年で27人。キャプテンの奥川晃平さん(2年)は「目標は全国。ひたむきに練習していくだけです」。倒れてから、ミスをしてからも、敵に流れを渡さない攻撃的なディフェンスが持ち味だ。去年はラグビーW杯で日本代表が活躍し、ラグビーの競技自体に対する注目度も上がった。部員は1、2年で27人。キャプテンの奥川晃平さん(2年)は「目標は全国。ひたむきに練習していくだけです」。

花園めざし ひたむきに練習 (寝屋川市)

★ 「ラオスに学校」グッズ販売

2007年から生徒自治会が寄付金を募り、ラオスに学校を建てる取り組みを続ける。募金箱を持って回るだけでなく、オリジナルデザインのノートやセーター、スウェットなどのグッズを作った販売もしている。副会長の吉田奈央さん(高3)は「スウェットは着心地も良く、部員首として愛用する人もいるんですよ」。12年には100万円を使ってラオスのポン村に教室が二つある小学校を寄付。昨年末時点では87万3943円が集まっている。会長の三木大輔さん(高3)は「同志社も、新島襄が米國で寄付を募って建てられた。時を超えて、同じことができるのがうれしいです」と話す。

国際交流や英語教育に注力

同志社の建学精神「国際主義」にのっとり、国際交流や英語教育に力を入れる。オバマ米大統領が卒業したハワイのプナホウスクールでの教育プログラムなど九つの語学研修がある。昨夏、50カ国の約700人の高校生が集まった米・フィリップアカデミーの夏季セッションに参加した国定菜生さん(高3)＝写真右＝は「力不足を痛感したが、将来やりたいことがはっきりした。英語を使って世界の役に立つ仕事がしたい」。スピーチコンテストも毎年開く。昨年1位の岡村祐輔さん(高1)＝同中央＝は「全てのプログラムに参加したい」。2位の塩崎菜央さん(高3)＝同左＝は「将来は海外で働きたい」。